

環境経営レポート



対象期間:2025. 4. 1~2026. 3. 31

発行年月日:2026. 5. 15

株式  会社
エムテック



エコアクション21[®]
認証番号0007123

目 次

第1章 環境経営方針

第2章 事業活動の概要と対象範囲

第3章 組織図

第4章 許可の内容

第5章 環境経営目標及び環境経営計画

第6章 環境目標の実績と数値評価

第7章 環境経営計画の取組結果と評価、次年度取組内容

第8章 環境関連法規一覧

環境関連法規等の遵守状況及び訴訟等の有無

第9章 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

第1章 環境経営方針

【基本理念】

弊社は、産業廃棄物処理業者として、廃棄物の適正処理、分別によるリサイクル事業を推進し、地球温暖化防止や資源の有効活用を図ると共に持続可能な循環型社会を構築するために、弊社の事業が第一線を担う存在であることを自覚し、エコアクション21環境経営システムを取り入れた事業活動を進め、環境に優しい企業を目指します。

また私たちは、経営における課題とチャンスを踏まえ、地域住民や地域環境に配慮し、環境と人に優しい事業活動を行っていきます。

【行動方針】

弊社は、基本理念の実現に向けて以下のことを行動方針とします。

1. 環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守する。
2. 環境負荷の低減に努め意識の向上を目指します。
 - ①二酸化炭素排出量削減のために省エネルギーの推進
(車両の利用が多いため、排気ガスが課題)
 - ②総使用水量の削減と適正使用の推進
 - ③エネルギー消費量の削減
3. 環境配慮型事業の推進(固形燃料化)
4. 事業活動にて使用する化学物質は、適正に管理します。
5. 産業廃棄物処理活動を通じつつ環境保全に貢献します。
6. この環境経営方針は全社員へ周知徹底を図ると共に、社外へ公開します。
7. この環境経営方針を実現するために環境目標を設定し定期的に見直し環境改善に努めます。

制定日 平成22年12月1日

改定日 令和6年4月6日

株式会社エムテック
代表取締役 中谷 勝徳

第2章 事業活動の概要と対象範囲

1. 社名 株式会社 エムテック
2. 本社 大阪市平野区瓜破南1丁目4番53号
3. 電話番号 06-6701-7077
4. FAX番号 06-6704-8074
5. メールアドレス m-technology@watch.ocn.ne.jp
6. ホームページアドレス <https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/status.php?Param1=027024&Param3=1&JgyTork=1>
7. 設立年月日 平成5年11月10日
8. 資本金 1,000万円
9. 代表取締役 中谷 勝徳
10. 事業活動 産業廃棄物の収集運搬・中間処理
11. 事業規模

	単位	2025年度
収集・運搬量	m ³	22,244
中間処理	本社工場	23,105
	松原工場	3,297
	平野プラント	2,234
	外部委託	65
	合計	28,701
うち再資源化	m ³	8,784
固形燃料	トン	1224
売上高	百万円	368
従業員数	人	20
延床面積※	m ²	2,871

※駐車場、資材置場を含む

12. 対象範囲——取組の対象組織

株式会社エムテック 本社・本社工場 大阪市平野区瓜破南1丁目4番53号

株式会社エムテック 松原工場 大阪府松原市三宅中7丁目1239番

株式会社エムテック 平野プラント 大阪市平野区瓜破南1丁目4番55号

13. 事業所の概要

本社・本社工場と松原工場は、道路を市境とした隣接事業所です。

1) 本社工場(所在地は前12項に記載)

(1) 事業内容の概要

① 産業廃棄物の収集運搬・中間処理業

② 産業廃棄物の種類

○ 廃プラスチック類、○ 紙くず、○ 木くず、○ 繊維くず、○ ゴムくず、○ 金属くず、
○ ガラスくず、○ がれき類、○ 燃え殻、○ 汚泥、○ 動植物性残渣、○ 鋳さい
○ 廃油、○ 廃酸、○ 廃アルカリ

③ 許可地域(許可内容は第4章に記載)

大阪府、大阪市、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、三重県、和歌山県

④ 収集運搬車両

2tコンテナ車:2台、2tダンプ車:2台、2t平ボデー車:2台、3tパワーゲート車1台、
2tユニック車:2台、4tコンテナ車:4台、3tパッカー車:1台、10tコンテナ車:2台

⑤ 重機

0.25ユンボ:1台

⑥ 敷地面積:990m²

- ⑦設備内容: NCM-P-V2 1100型 2軸破碎機(30kw) × 1基
- ⑧処理能力: 12.3m³/日
- ⑨処理方式: 破碎・切断
- ⑩処理工程図: 添付図に記載。

2) 松原工場(所在地は前12項に記載)

(1) 事業内容の概要

- ①産業廃棄物の中間処理業
- ②産業廃棄物の種類
 - 廃プラスチック類、○紙くず、○木くず、○繊維くず
- ③許可地域(許可内容は第4章に記載)
 - 大阪府
- ④収集運搬車両(本社工場に含む)
- ⑤重機
 - 0.1ユンボ: 1台、3tフォークリフト: 1台
- ⑥敷地面積: 231m²
- ⑦設備内容: FR600-1 1軸破碎機付減容・固化機(55kw) × 1基
- ⑧処理能力: 破碎23m³/日(廃プラスチック類4.6t/日、木くず4.8t/日)
 - 減容固化20.3m³/日
- ⑨処理方式: 破碎・減容固化
- ⑩処理工程図: 添付図に記載。

2) 平野プラント(所在地は前12項に記載)

(1) 事業内容の概要

- ①産業廃棄物の中間処理業
- ②産業廃棄物の種類
 - 廃プラスチック類、○紙くず、○木くず、○繊維くず
- ③許可地域(許可内容は第4章に記載)
 - 大阪市
- ④収集運搬車両(本社工場に含む)
- ⑤重機
 - 0.14ユンボ: 1台、0.25ユンボ: 2台、3tフォークリフト: 1台、ホイールローダー: 1台
- ⑥敷地面積: 915.51m²
- ⑦設備内容: FR600-1 1軸破碎機付減容・固化機(55kw) × 1基
 - 横型圧縮梱包機SX-H127(18.5kw) × 1基
- ⑧処理能力: 4.5t/日
- ⑨処理方式: 減容固化
- ⑩処理工程図: 添付図に記載。

14. 廃棄物処理料金

詳細につきましては下記連絡先までお問い合わせ下さい。
TEL: 06-6701-7077

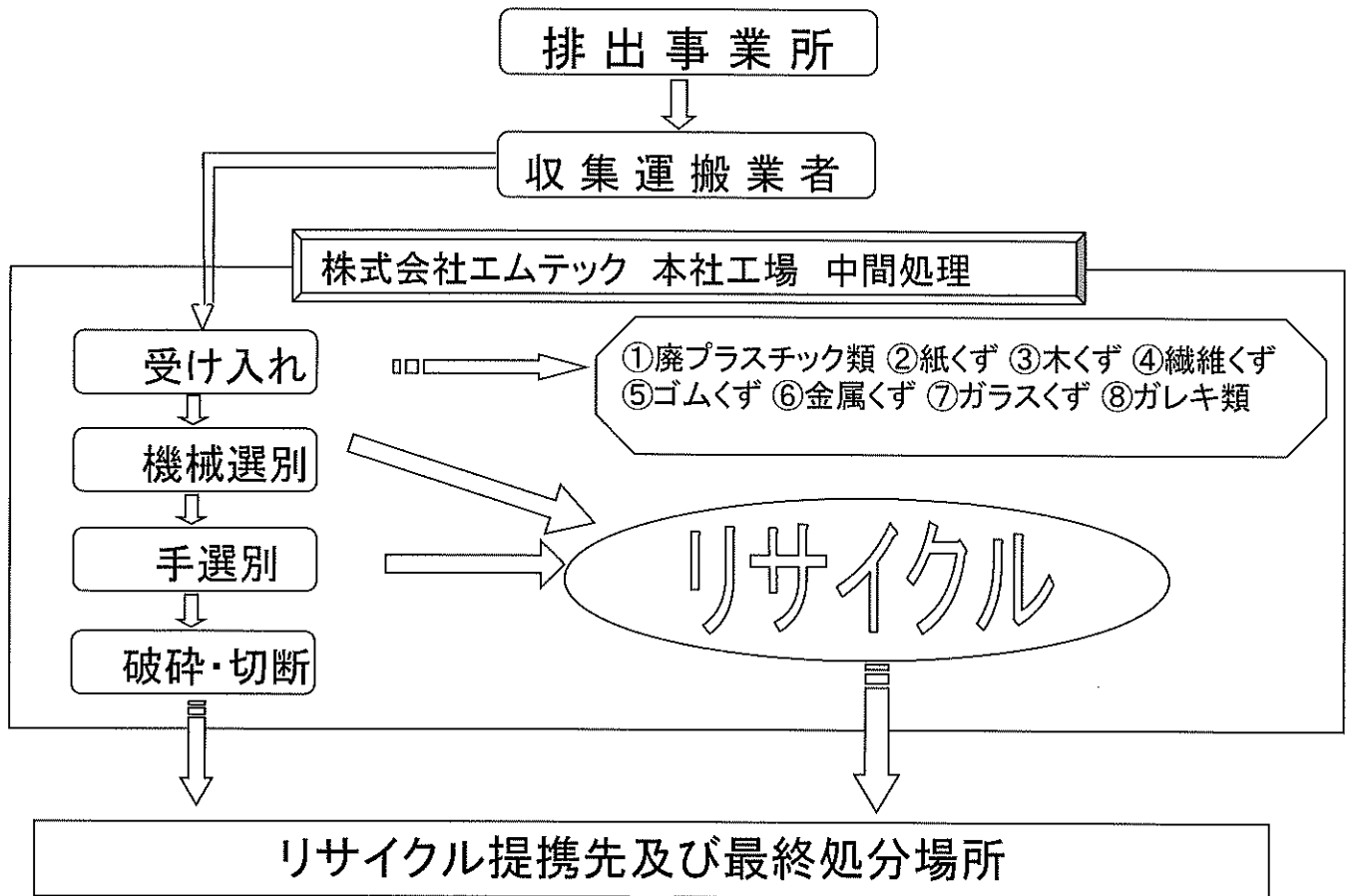
15. アクセスマップ



※可連瓜破出口すぐ

株式会社 エムテック

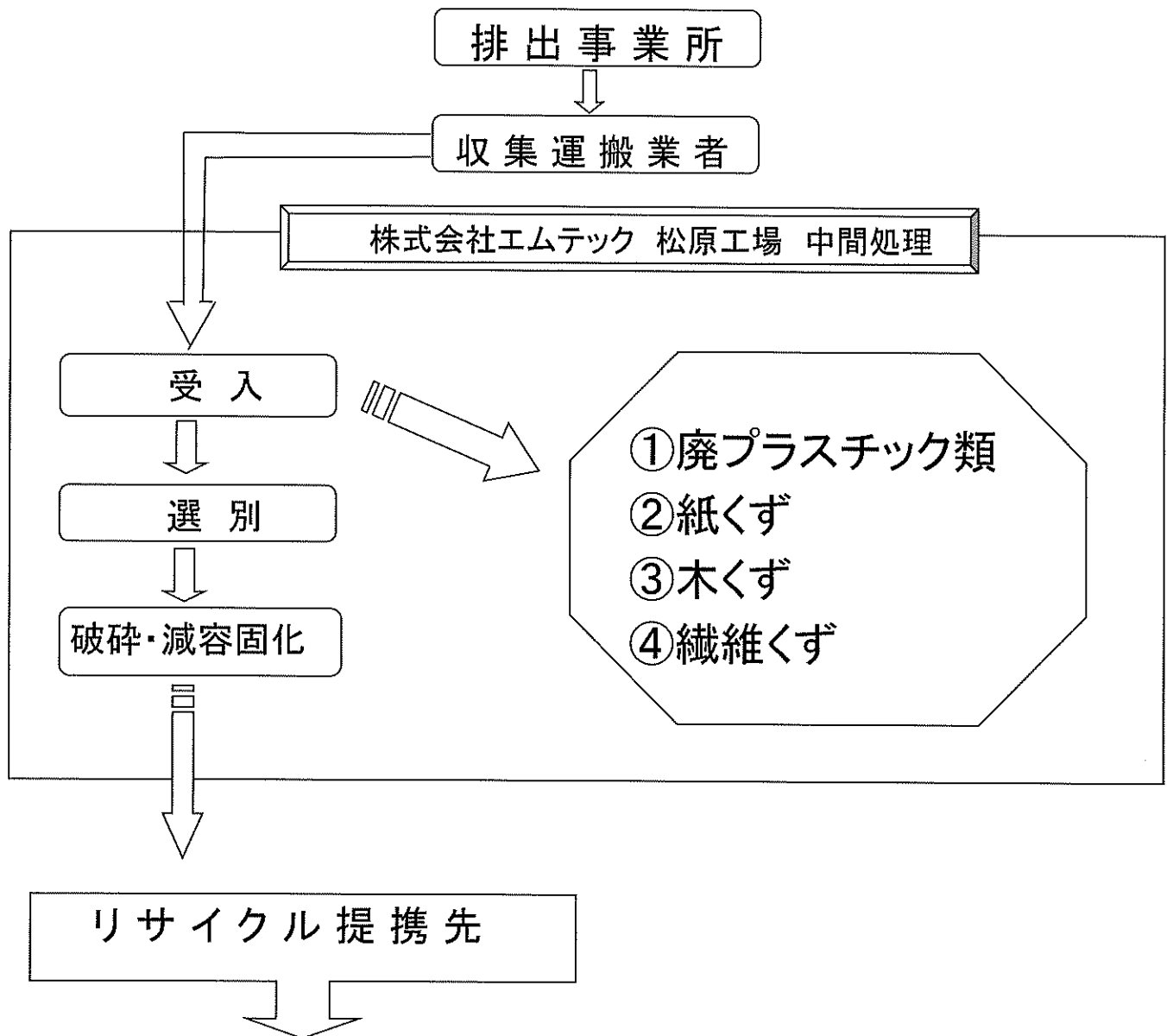
(中間処理後の最終処分地・リサイクル先)



許可番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力
	中山商事(株)	大阪府堺市美原区北丹上100-1	有価物として売却	
	(有)及川産業	大阪府松原市大堀3-12-11	有価物として売却	
	(株)ナカキン	大阪市住之江区平林2-9-13	有価物として売却	
	マツダ(株)	大阪市住之江区泉2-1-92	有価物として売却	
	大吉再生資源(株)	大阪府堺市美原区菅生1599-1	有価物として売却	
2720027024	(株)エムテック RPF松原工場	大阪府松原市三宅中7-1239	破碎・減容固化	破碎: 23m ³ /日 減容固化: 20.3m ³ /日
2720003319 6620003319	木材開発(株)	大阪府岸和田市木材町11-13 大阪市住之江区平林北2-6-50	破碎(木くず)	290t/日 120t/日
2720103484	(株)都市樹木再生センター	大阪府大東市大字龍間 1195番地ほか4筆	破碎、破碎・堆肥化	240t/日
7220017365	(株)三高産業	和歌山県和歌山市西浜1660-97	選別	364.8m ³ /日
2943001709	(株)ケイエフアイ	大阪府岸和田市新港町9-2、 9-5の一部	破碎	29t/日
2942030088	(株)丸山土木	奈良県御所市大字小林561	埋立(安定型)	432,082.5m ³
11540000229	(株)ジェネス	滋賀県大津市栗原字半道89番外	埋立	1,476,412.4m ³

株式会社 エムテック

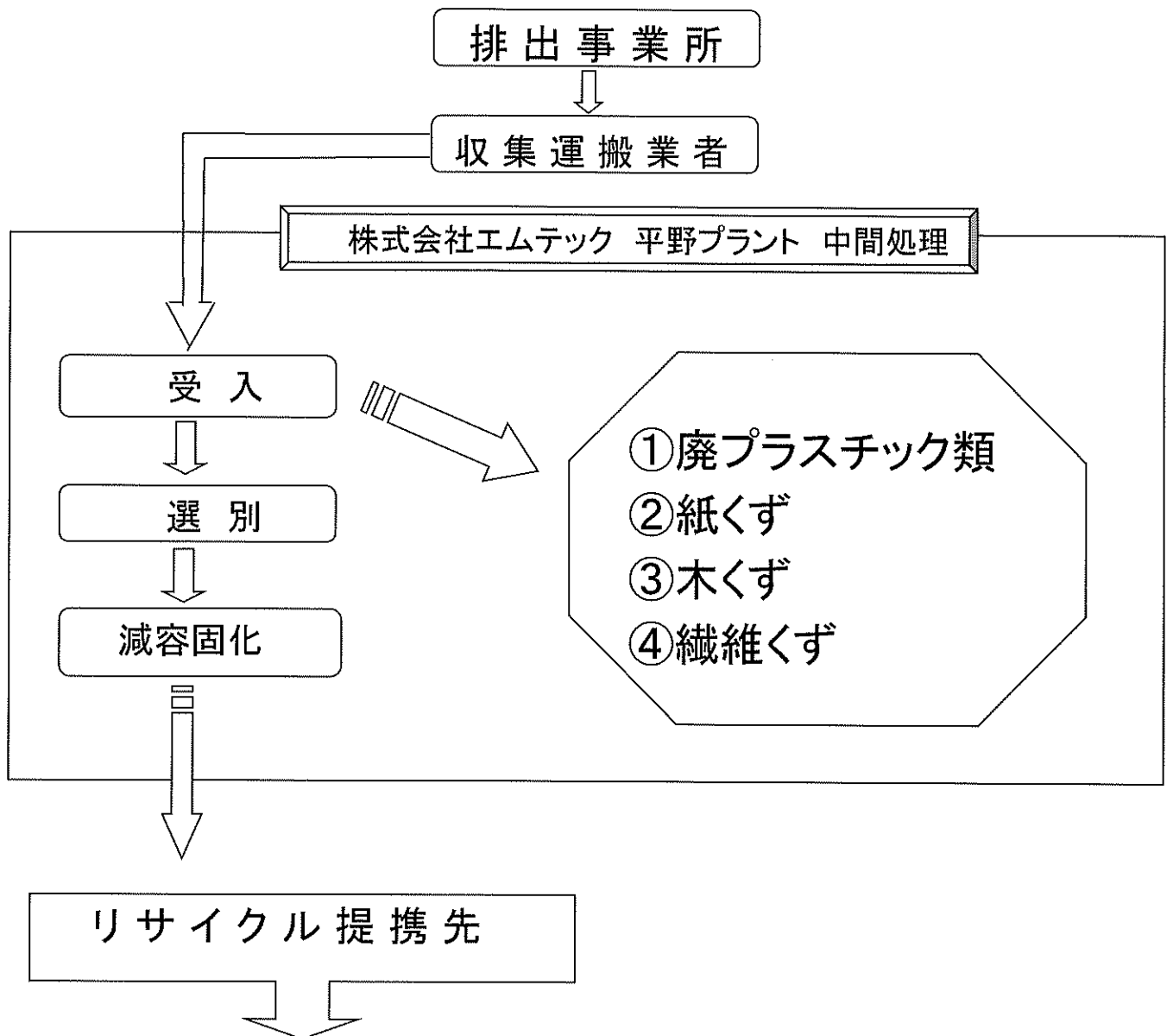
(中間処理後の最終処分地・リサイクル先)



事業場の名称	所在地
日本製紙(株)岩国工場	山口県岩国市飯田町2-8-1

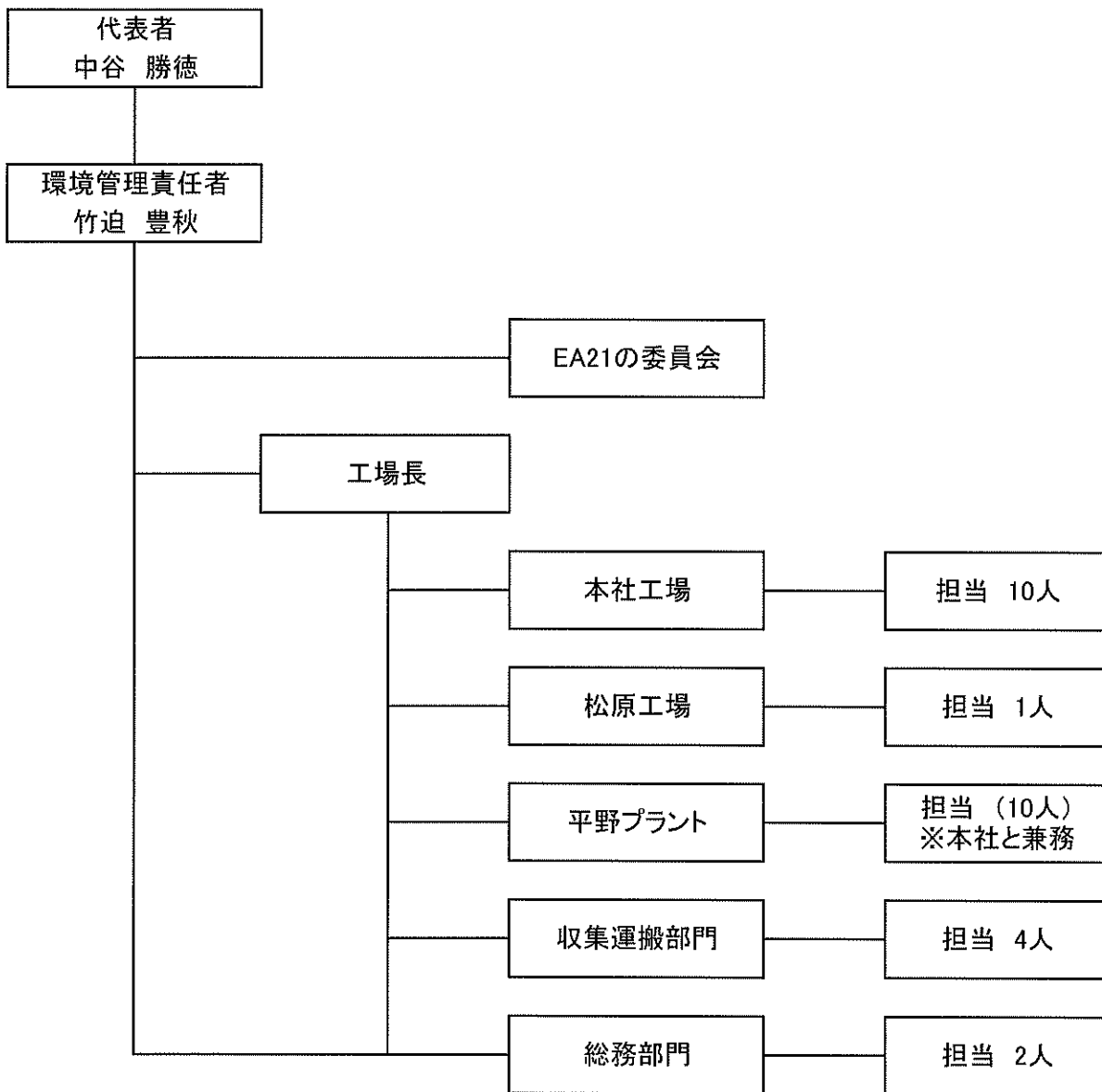
株式会社 エムテック

(中間処理後の最終処分地・リサイクル先)



事業場の名称	所在地
日本製紙(株)岩国工場	山口県岩国市飯田町2-8-1

第3章 組織図



役割・責任・権限

代表者	環境経営方針の策定 環境管理責任者の任命 全体の評価と見直し及び改善 経営資源の準備
環境管理責任者	システムの構築・運用 代表者への報告 文書類の管理
EA21の委員会	環境管理責任者の業務の補佐
各部門責任者	部門内での目標・計画の管理・実施と報告 部門内の問題点の把握と改善の立案
従業員	環境経営方針の理解と、計画への参加

第4章 許可の内容

許可行政	許可番号	許可取得年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	
		許可有効年月日																
収集運搬業	大阪府 02700027024	令和7年7月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和12年7月20日																
	兵庫県 02801027024	令和7年2月3日	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和12年2月2日																
	京都府 02600027024	令和7年2月17日							○	○	○	○		○	○	○		○
		令和12年2月16日																
	和歌山県 03000027024	令和7年7月15日							○	○	○	○		○	○	○		○
令和12年7月14日																		
奈良県 02900027024	令和7年1月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
	令和12年1月6日																	
滋賀県 02501027024	令和7年1月26日							○	○	○	○		○	○	○		○	
	令和12年1月25日																	
三重県 02400027024	令和7年1月19日							○	○	○	○		○	○	○		○	
	令和12年1月18日																	

許可行政	許可番号	許可取得年月日	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類
		許可有効年月日								
処分業	大阪府 02720027024	令和6年9月11日	○	○	○	○				
		令和11年9月10日								
大阪府	大阪市 6620027024	令和7年1月31日	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和12年1月25日								

第5章 環境経営目標及び環境経営計画

	対象範囲	環境経営計画 ※1	基準年度 (前年度)		26年度	27年度	28年度
			実績値		目標値	目標値	目標値
CO ₂ 排出量	電力	本本社 社社 工及 場び	工場の効率的稼働	1.50 t-CO ₂ ※2	前年度・前々年度の 実績数値の平均を目標値とし て維持管理する		
			運転停止時の 電源OFF				
			エアコンの温度管理 暖房室温20℃・冷房28℃				
	電力	松原 工場	工場の効率的稼働	49.26 t-CO ₂ ※3	前年度・前々年度の 実績数値の平均を目標値とし て維持管理する		
			運転停止時の 電源OFF				
			不要照明の消灯				
	電力	プラ平 ン野 ト	工場の効率的稼働	146.06 t-CO ₂ ※3	前年度・前々年度の 実績数値の平均を目標値とし て維持管理する		
			運転停止時の 電源OFF				
			不要照明の消灯				
化石燃料	本 社 及 び 本 社 工 場	重機の経済的運転	ガ ソ リ ン	1.45 t-CO ₂ ※4	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
		収集運搬車両の 点検整備の徹底					
	工松 場原	収集運搬車両の 走行距離の低減	軽 油	68.33 t-CO ₂ ※5	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
		収集運搬車両の エコドライブの徹底					
	低燃費車の導入						
工松 場原	重機の経済的運転	軽 油	3.23 t-CO ₂ ※5	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す			
プラ平 ン野 ト	重機の経済的運転	軽 油	15.93 t-CO ₂ ※5	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す			

※1 環境経営計画の責任者は工場長とする

※2 令和7年3月18日の環境省報道発表資料における調整後排出係数を使用(0.419kg-CO₂/kWh)
電気事業者名:関西電力(株)

※3 令和7年3月18日の環境省・経済産業省公表資料における調整後排出係数を使用(0.462kg-CO₂)
電気事業者名:リコー(株)

※4 令和7年3月14日の経済産業省報道発表資料における排出係数を使用(0.0186kg-CO₂/MJ)

※5 令和7年3月14日の経済産業省報道発表資料における排出係数を使用(0.0188kg-CO₂/MJ)

	対象範囲	環境経営計画 ※1	基準年度 (前年度)	26年度	27年度	28年度	
			実績値	目標値	目標値	目標値	
廃棄物排出量	廃棄物量	本 本 社 社 工 及 場 び	廃棄物 排出量の削減	廃棄物焼却量 238 kg	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
			社内廃棄物の 分別徹底	3種類分別	3種類分別		
	工松 場原	廃棄物は発生しない。					
	ンプ平 トラ野	廃棄物は発生しない。					
総使用水量	使用水量	本 本 社 社 工 及 場 び	用水時の節水	292 m ³	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
		松 原 工 場	用水時の節水	96 m ³	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
		プ 平 ラ 野 ン ト	用水時の節水	236 m ³	前年度の実績数値を 目標として少しでも削減を 目指す		
固形燃料	製造量	松 原 工 場	固形燃料の製造	231.63 t	前年度の実績数値を 目標として少しでも増加を 目指す		
		プ 平 ラ 野 ン ト	固形燃料の製造	907.03 t	前年度の実績数値を 目標として少しでも増加を 目指す		

※1 環境経営計画の責任者は工場長とする
・化学物質は自社での使用実績がないため目標から除外した。

第6章 環境目標の実績と数値評価

		対象範囲	環境目標	目標・実績		評価
電力	本 社 工 場 及 び	前年度・前々年度の実績数値の平均を目標値として維持管理する ※1 t-CO ₂	目標	1.34	目標達成。 節電を徹底して今後も取組を続けていく。	
			実績	1.18		
			数値評価	○		
	松 原 工 場	前年度・前々年度の実績数値の平均を目標値として維持管理する ※2 t-CO ₂	目標	3.92	目標達成。 Co2排出が0となったため、前年度の実績を12で割った数値を今年度の目標値に設定した。来年度より使用量の数値管理をしていく。	
			実績	3.27		
			数値評価	○		
	平 野 プ ラ ン	前年度・前々年度の実績数値の平均を目標値として維持管理する ※2 t-CO ₂	目標	12.15	目標未達成。 Co2排出が0となったため、前年度の実績を12で割った数値を今年度の目標値に設定した。来年度より使用量の数値管理をしていく。	
			実績	14.24		
			数値評価	×		
	全 社 計	前年度・前々年度の実績数値の平均を目標値として維持管理する t-CO ₂	目標	17.42	目標未達成。 松原工場・平野プラントのCo2排出が0となったため、来年度より使用量の数値管理をしていく。	
			実績	18.69		
			数値評価	×		
CO ₂ 排出量	本 社 工 場 及 び	前年度の実績数値を目標として維持管理する ガソリン ※3 t-CO ₂	目標	5.43	目標達成。 目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。	
			実績	4.91		
			数値評価	○		
	本 社 工 場 及 び	前年度の実績数値を目標として維持管理する 軽油 ※4 t-CO ₂	目標	251.45	目標達成。 目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。	
			実績	205.48		
			数値評価	○		
	松 原 工 場	前年度の実績数値を目標として維持管理する 軽油 ※4 t-CO ₂	目標	11.82	目標未達成。 昨年度は工場が修理等で停止しており稼働日数が少なく、数値が低かったが、目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。	
			実績	15.91		
			数値評価	×		
	平 野 プ ラ ン ト	前年度の実績数値を目標として維持管理する 軽油 ※4 t-CO ₂	目標	58.63	目標達成。 目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。	
			実績	42.65		
			数値評価	○		
全 社 計	前年度の実績数値を目標として維持管理する t-CO ₂	目標	327.33	目標達成。 目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。		
		実績	268.95			
		数値評価	○			

		対象範囲	環境目標	目標・実績		評価
廃棄物排出量	廃棄物量	本本社工場及び	前年度の実績数値を目標として維持管理する kg	目標	238	目標達成。 節水を徹底して今後も取組を続けていく。
				実績	232	
				数値評価	○	
総使用水量	使用水量	本本社工場及び	前年度の実績数値を目標として維持管理する m ³	目標	292	目標達成。 節水を徹底して今後も取組を続けていく。
				実績	250	
				数値評価	○	
		松原工場	前年度の実績数値を目標として維持管理する m ³	目標	96	目標未達成。 昨年度は工場が修理等で停止していたため数値が低かったが、 目標達成できるよう引き続き取組を続けていく。
				実績	159	
				数値評価	×	
		平野プラント	前年度の実績数値を目標として維持管理する m ³	目標	236	目標未達成。 節水を徹底して今後も取組を続けていく。
				実績	173	
				数値評価	○	
		全社計	前年度の実績数値を目標として維持管理する m ³	目標	624	目標達成。 節水を徹底して今後も取組を続けていく。
				実績	582	
				数値評価	○	
固形燃料	製造量	松原工場	前年度の実績数値を目標として維持管理する t	目標	231.63	目標達成。 年間通して稼働ができた。 機械のメンテナンスを重視しながら安定した生産量を確保していく。
				実績	428.38	
				数値評価	○	
		平野プラント	前年度の実績数値を目標として維持管理する t	目標	907.03	目標未達成。 機械のメンテナンスを重視しながら安定した生産量を確保していく。
				実績	795.57	
				数値評価	×	
		全社計	前年度の実績数値を目標として維持管理する t	目標	1138.66	目標達成。 こまめにアイドルリングストップし、機械のメンテナンスを重視しながら安定した生産量を確保していく。
				実績	1223.95	
				数値評価	○	

※1 令和7年3月18日の環境省報道発表資料における排出係数を使用(0.419kg-CO₂/kWh)
電気事業者名:関西電力(株)

※2 令和7年3月18日の環境省・経済産業省公表資料における排出係数を使用(0.462kg-CO₂/kWh)
電気事業者名:リコージャパン(株)

※3 令和7年3月14日の経済産業省報道発表資料における排出係数を使用(0.0186kg-CO₂/MJ)

※4 令和7年3月14日の経済産業省報道発表資料における排出係数を使用(0.0188kg-CO₂/MJ)

エネルギー消費量の削減

エネルギー使用による温室効果ガス排出量の約63.8%以上が「軽油」となっていることから、軽油消費量の削減が課題となっております。

軽油の消費量を監視し、消費量の削減に取り組んでいきます。

監視の数値は、「収集運搬量当り」の使用量としております。

○総エネルギー消費量

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電力	kWh	487,992	436,250	315,716	428,354	482,778
軽油	ℓ	147,680	135,435	125,677	122,880	100,802
ガソリン	ℓ	1,526	2,649	2,577	2,331	2,099

○温室効果ガス排出量

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電力	kg-CO ₂	177,506	157,043	147,679	222,370	18,690
軽油	kg-CO ₂	381,014	349,422	2,363	2,310	264,040
ガソリン	kg-CO ₂	3,539	6,146	6,020	5,430	4,910
合計	kg-CO ₂	562,059	512,611	156,062	230,110	287,640

○軽油消費量の監視値

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収集運搬量	m ³	21,086	18,001	20,105	21,263	22,244
収集運搬量当り	ℓ/m ³	7.003	7.524	6.251	5.779	4.532

第7章 環境経営計画の取組結果と評価、次年度取組内容

評価基準

5:ほぼ100%取組ができた 4:75%程度の取組結果であった 3:50%程度の取組結果であった
2:ほとんど取り組めなかった 1:全く取り組めなかった

(1)二酸化炭素排出量の削減

分類	対象範囲	環境経営計画	評価	次年度に向けて	次年度取組	
電力消費量削減	本社及び本社工場	工場の効率的稼働	3	さらなる努力が必要	継続実施	
		運転停止時の電源OFF	3	改善の徹底が必要	継続実施	
		エアコン暖房室温20℃・冷房28℃	3	さらなる努力が必要	継続実施	
		不要照明の消灯	3	さらなる努力が必要	継続実施	
	松原工場	工場の効率的稼働	4	今後も継続実行が必要	継続実施	
		運転停止時の電源OFF	4	今後も継続実行が必要	継続実施	
		不要照明の消灯	4	今後も継続実行が必要	継続実施	
	平野プラント	工場の効率的稼働	4	今後も継続実行が必要	継続実施	
		運転停止時の電源OFF	4	さらなる努力が必要	継続実施	
		不要照明の消灯	4	今後も継続実行が必要	継続実施	
	燃料使用量削減	本社及び本社工場	重機の経済的運転	4	改善の徹底が必要	継続実施
			収集運搬車両の運行前点検を実施する	3	改善の徹底が必要	継続実施
収集運搬経路を最短距離で走行する			3	改善の徹底が必要	継続実施	
収集運搬車両のエコドライブの教育と実施			3	改善の徹底が必要	継続実施	
低燃費車の導入(次回購入時)			3	さらなる努力が必要	継続実施	
松原工場		重機の経済的運転	3	さらなる努力が必要	継続実施	
平野プラント		重機の経済的運転	4	今後も継続実行が必要	継続実施	

(2)廃棄物排出量の削減

分類	対象範囲	環境経営計画	評価	次年度取組内容	次年度取組
廃棄物量削減	本社事務所	廃棄物焼却量の削減	5	今後も継続実行が必要	継続実施
		社内廃棄物の分別徹底	5	今後も継続実行が必要	継続実施

(3)水道使用量の削減

分類	対象範囲	環境経営計画	評価	次年度取組内容	次年度取組
水道量削減	本社及び本社工場	節水と漏水の点検	3	さらなる努力が必要	継続実施
	松原工場	節水(散水は必要時のみ)	3	さらなる努力が必要	継続実施
	平野プラント	節水(散水は必要時のみ)	3	さらなる努力が必要	継続実施

(4)環境経営の推進

分類	対象範囲	環境経営計画	評価	次年度取組内容	次年度取組
環境保全活動	松原工場	固形燃料の製造と定期メンテナンスの実施	4	さらなる努力が必要	継続実施
	平野プラント	固形燃料の製造と定期メンテナンスの実施	3	さらなる努力が必要	継続実施

第8章 環境関連法規一覧

No	名称	順守状況	評価	
			遵守	否
1	廃棄物処理法	産廃収運・処分業・施設の許可 産廃処理基準・委託基準 マニフェスト交付関連 水銀廃棄物の適正処理	○	
2	自動車リサイクル法	自動車のリサイクル券	○	
3	騒音規制法	騒音規制:第3種区域 (準工業地域)	○	
4	振動規制法	敷地境界線上における規制基準の遵守		
5	道路運送車両法	保安基準、点検・整備	○	
6	自動車Nox・PM法	適合車シールの貼付	○	
7	家電リサイクル法	リサイクル券の確認	○	
8	フロン排出抑制法	フロン漏れの簡易点検、定期点検の実施と記録の保管 フロン回収済の引取証明書を確	○	
9	消防法	消火器の設置	○	
10	大阪市環境基本条例	環境保全	○	
11	松原市 (大阪府生活環境の保全等に関する条例を準用)	環境保全	○	

環境関連法規等の遵守状況及び訴訟等の有無

弊社事業による主要な環境関連法令等の違反はありませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘は過去一度もなく、訴訟等はありませんでした。

第9章 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

項目ごとの代表者による全体評価と見直し結果は次のとおりです

(1) 環境経営方針及び環境経営システム

変更の必要性有無	無
----------	---

項目	評価
環境経営方針 環境経営システム	各自が意識を持って各々の役割をよく認識し定着している。 システムもうまく機能している。

(2) 環境経営目標

変更の必要性有無	有
----------	---

項目	評価
CO ₂ (電力・燃料) 廃棄物 水道	数値目標はほぼ達成されている。 今後も節電を徹底し、今後も取組を継続していく。 松原工場については、安定して稼働できるよう取組を継続していく。

(3) 環境経営計画

変更の必要性有無	有
----------	---

項目	評価
用水時の節水	節水は、定期的な点検と節水により、数値目標を達成できている。今後も目標達成を継続していく。
軽油消費量の削減	車両の運搬経路の効率化と重機の効率的な使用を重点的に実施し、目標達成できるよう引き続き取組を続けていくこと。

(4) 環境経営計画

変更の必要性有無	有
----------	---

項目	評価
固形燃料の製造	機械のメンテナンスを重視しながら安定した製造を維持していくこと。